

Youth Sailing



Japan Junior Yacht Club Union

ユースセーリング

[ジュニアヨット指導書]

No. 86

国際交流

日本ジュニアヨットクラブ競技会 2017 in 若洲 ...2

第26回

ジュニアヨット国際親善東京レガッタ

(ミキハウスカップ東京2016) ...6

第5回

ジュニアヨット国際親善大阪レガッタ

(ミキハウスカップ大阪2016) ...10



YSクローズアップ

2016年度

海外セーリング研修報告

パース ...18

シンガポール ...20



特集／三回連載

ジュニアヨットクラブの

指導者・コーチの皆さんへ 第3回

(一社)日本ジュニアヨットクラブ連盟

副会長 安井清 ...22

巻頭言／ジュニアセーラーへの期待

(一社)日本ジュニアヨットクラブ連盟会長

衆議院議員 石原伸晃... 1

レース成績表

(国際交流、ミキハウス東京・大阪)... 14

JJYU NOTICE BOARD

イベントスケジュール、連盟会長表彰、他... 26

発行日／2017.10.31

発行／一般社団法人 日本ジュニアヨットクラブ連盟

発行人／伊藤雅宣

編集人／岸野 寛、葛西信一

事務局／〒182-0004 東京都調布市入間町3-20-5

TEL: 03-6277-9641 FAX: 03-6277-9646

e-mail / jjyacht@jjyu.net

健康づくりのために 今すぐ始められること。

健康づくりのきっかけとして、気軽に受けられるKYG協会の検査サービスや教育講座をご活用ください。



食事の栄養バランスや食生活の改善点を個別にコンサルティング

お食事栄養診断

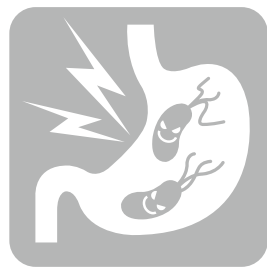
3日分の食事内容より栄養素の摂取状況などを管理栄養士が診断し、診断報告書と、栄養バランスや食生活などの改善ポイントをまとめたアドバイスシートを作成します。

【診断項目】※診断項目は予告なく変更することがあります。

- ◆エネルギー診断 BMI、エネルギー産生栄養素バランス
- ◆栄養バランス診断 脂肪酸、ビタミン、ミネラル・食塩、食物繊維摂取量
- ◆摂取品目診断 穀類、いも類、豆類、魚介類、肉類、卵類、乳類、緑黄色野菜、きのこ類、海藻類など18食品群の摂取状況

〈診断の流れ〉

- 1 食事日誌を提出
3日分のお食事の内容を食事日誌に記入して提出してください。
- 2 栄養診断
管理栄養士が食事の栄養バランスやエネルギーバランスなどを診断します。
- 3 診断報告書郵送
診断報告書と、栄養バランスや食生活などの改善ポイントをまとめたアドバイスシートをお送りします。



ピロリ菌感染で胃がんリスクは5.1倍に
検査と除菌で胃がん予防

ピロリ菌検査キット (郵送血液検査)

検査キットを使用し、一滴の血液を採取。胃がんの原因といわれるピロリ菌感染のチェックができます。

検査項目：ヘリコバクターピロリ菌抗体検査

〈検査の流れ〉

- 1 検査のお申し込み
申込書にご記入してFAXまたは郵送でお申し込みください。
- 2 血液検体の採取・返送
検査キットを使用し、ご自宅で血液を採取。返信用封筒にて検体を返送してください。
- 3 検査結果報告
検体返送後、約1週間で検査報告書をお送りします。



遺伝子を知るともっと自分のことが見えてくる

遺伝子診断

発ガン物質感受性／アルコール感受性／肥満体質／塩分感受性



生活習慣病を引き起こす危険因子に関する体質を遺伝子のタイプより判定します。



遺伝子栄養学の基礎を学ぶ

KYG栄養カウンセラー 養成講座(通信教育講座)

遺伝子の仕組みや核酸の働きなど、遺伝子栄養学の基礎を学ぶ講座です。修了後はKYG栄養カウンセラーに認定されます。



体内の酸化ストレスレベルを測定

遺伝子酸化損傷検査



DNA酸化物「8-OHdG」を測定し、生活習慣病や老化の原因となる体内の酸化ストレスレベルを測定します。



生活習慣病の簡単セルフチェック

生活習慣病+糖尿病セルフチェック (郵送血液検査)



自宅で行なう郵送型の検査です。指先から一滴の血液を採取するだけで生活習慣病のセルフチェックができます。

巻頭言

ジュニアセーラーへの期待

私が初めてヨットに触れたのは皆さんと同じ小学生の頃です。江の島ヨットクラブのジュニアヨットスクールの二期生として、当時はまだ珍しかったOPに乗って、初めて海に出た日の感動は、今も忘れません。当時のOPはまだ木造艇でした。先輩方から「初めてOPが日本に届いた時は、外国の害虫の侵入を防ぐための検査で長期間税関に留められて大変だったんだ。」などと伺ったのも、いまは懐かしい思い出です。

ヨットは自然との闘いです。海は、私たちに多くを教えてください。自分の力ではどうしようもない、海という自然に向き合う時、子供たちは自分の力の限界を知るでしょう。そしてその自然と格闘し、自ら考え、判断し、行動することを繰り返しながら、肉体的にも精神的にも成長して行きます。こうした体験は、ますます不確実性を増す現代に生きていく子供たちにとって貴重な体験であり、健全な精神や豊かな感性を育む上でも大変有意義なことであると思います。何よりも、子供たちの安全を確保しながら、全国各地で指導、監督をされている指導者の皆さんのご尽力に深く敬意を表します。

平成16年10月に本連盟の会長に就任して、はや13年が経ちました。その間、本連盟は、多くの企業からご支援も頂きながら、全国大会、国際交流大会の主催、海外セーリング研修への子供たちの派遣、ジュニアクラブへの出前コーチや指導者研修会などの活動を通じ、ジュニアセーラーの皆さんの活躍を応援してきました。

2020年の東京オリンピック開催までいよいよ3年足らずとなりました。セーリング競技会場は私が初めてヨットに触れた江の島です。私たちが応援してきた皆さんの中から、日本初の金メダリストが出ることを大いに期待し、皆さんとともに頑張っていきたいと思います。



一般社団法人
日本ジュニアヨットクラブ連盟会長
衆議院議員 石原伸晃

資料請求・
お問い合わせは

KYG協会まで

TEL.03-3400-3601〔平日9:00~18:00〕

特定非営利活動法人 KYG協会
〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町2-6-6

実施報告

実行委員会委員長
一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟
理事 **塩野崎 英二**



江東区長山崎孝明様

はじめに

国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会 2017 は、公益財団法人東京都スポーツ文化事業団の共催を得て、東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所にて、8月4日(金)～6日(日)の3日間に渡り開催されました。海外からはオーストラリア、ニュージーランド、ロシア、香港、韓国、タイの6カ国、国内からは北は青森県、南は大阪府までの15クラブが参加し、4日の開会式、国際交流会では126名の選手・コーチ、90名を超える応援の父兄を迎えて、運営役員も80名余の300名に近い規模となりました。

開会式

開会式はホテルマリナーズコート東京の宴会場で開催、競技会委員長のJJYU伊藤雅宜専務理事の開会宣言、競技会副会長のJJYU佐藤精知夫会長代行の挨拶ののち、ご来賓を代表して、江東区長山崎孝明様、東京都スポーツ文化事業団国際交流・競技力向上事業担当部長の松井るな子様からお言葉を頂戴致しました。ご来賓には、来年の国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会 2018 の開催予定地から大分県セーリング連盟会長堀井伸一様、理事長五十川浩司様、日本オブティミストディンギー協会理事長濱本徹夫様にもご参



山中湖宣言



選手宣誓



丸山先生による安全講習会



A海面競技説明会

加いただきました。

続いて少年ヨット憲章「山中湖宣言」を江東区立小中学校セーリング部と夢の島ヨットクラブの3名(富永晏史、飯塚竜士、北浦菜月)、選手宣誓を江東区立小中学校セーリング部と夢の島ヨットクラブの2名(上条久美子、重松駿)の選手たちが力強い言葉で表現してくれました。

開会式終了後に恒例の安全講習会を丸山理事・医療救護部長が熱中症を中心に説明し、競技運営説明会はA海面、B海面に分かれて行いました。

国際交流会

国際交流会は開会式と同じ会場で行われ、参加者は食事を楽しみながら、海外チームとの記念品交換、各クラブの紹介などなごやかに繰り広げられました。佐藤競技会副会長から、外国6チームの指導者代表にそれぞれ記念品を贈呈しました。アトラクションでは、真正会・鈴木道場の鈴木館長、師範とスタッフ4名による空手演武が行われ、即席空手教室では木片割りに日本チーム、海外チームの子供達が入れ替わり参加し、楽しい前夜祭となりました。

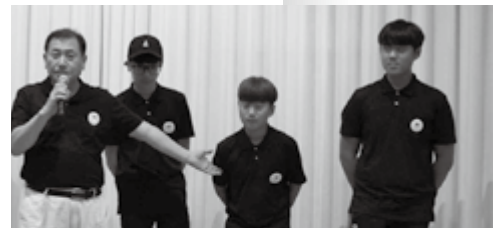
香港チーム



オーストラリアチーム



韓国チーム



ニュージーランドチーム



タイチーム



ロシアチームとの記念品交換

JJYU佐藤会長代行から記念品贈呈



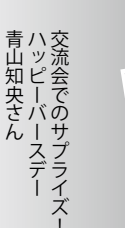
アトラクションでの空手演武



木片割りに挑戦したオーストラリア選手



記念品の「祭」のうchw



会場風景

A海面のレース状況

今競技会は2日間を通し微風、風の振れ、潮に運営側、選手ともに苦戦するレースとなりました。

■8月5日(土) 競技会初日

北風が残る中、定刻に全艇出艇しましたが、気温上昇とともに東風となり、約1時間遅れにて420級/FJ級、引き続きレーザー4.7、OP級上級者がスタートしました。午後からは更に南に振れて軽風に終始し、初日のレースは終わりかと諦めかけた16時前ようやく8～10knotの風が出て、デッキの中で小さくなっていた選手も最終レースはようやくハイクアウト、トラップーズに出ることが出来ました。国際420級/FJ級は予定通り5レース、レーザー4.7、OP級上級者は4レースを実施して初日



OP級上級者のスタート

タイ選手によるフィニッシュ前のワン・ツー争い(OP級上級者)



ニュージーランド選手がオーストラリア選手を押さえてフィニッシュ(レーザー4.7)

国際420級、FJ級のスタート



レーザー4.7のスタート



決勝戦のスタート風景



B 海面のレース状況

OP 級初級者の参加は、関東・東北エリアの 17 名で、うち 2 名がチャーター艇でした。

■8月5日(土) 予選
選手をあらかじめ一定のルールで4ディビジョンに分け、2つのディビジョン同士が対戦し、計 6 レースで結果を出すことにしました。

風速 6 ノット、風軸 50 度の風でしたので、昨年度の反省から、潮流の影響を考慮してソーセージコースを設定し、予定通り順調にレースを消化し、予選の 6 レースはすべて終了しました。順調に予選レースを消化したため、艇を片付けた後、都民の体験試乗会が終了したギグ 2 艇を利用して A 海面に行き、上級者クラスの帆走を見学しました。

■8月6日(日) 決勝戦
8 時 20 分に指導者・選手を集めて、予選結果の下位 9 名と上位 8 名に分け夫々識別リボンを渡しました。決勝戦は 140 度、8 ノットの風で、予選と同様ソーセージコースでレースを行うことにしました。

まず、予選下位グループの 9 艇で 2 レースを行い、上位 3 艇を上位 8 名に加えて、11 艇での決勝戦を 2 レース行いました。優勝は、江東区立小中学校セーリング部の中川祐太君です。



トップ艇が上マークを回航



次々に上マークを選手達が回航



下マークに向かう上位艇



体験試乗会に参加の皆さん

海外招待チームの状況

今年の競技会にはオーストラリア・香港・ニュージーランド・ロシア・韓国・タイの 6 か国からレーザー 4.7 級 6 名・OP 級上級者 13 名の選手及びコーチ・父兄 22 名、総勢 41 名が参加しました。レース海面では昨年と同様に各国コーチがコーチボートから自国選手へ積極的にアドバイスを出し、その期待に応え各選手は素晴らしいセーリングを展開していました。国際交流個人対抗レース OP 級上級者ではタイの 2 選手が総合 1、2 位、レーザー 4.7 級ではオーストラリア、ニュージーランド選手が総合 1、2 位を獲得、海外チーム戦ではタイチームが優勝を飾りました。

海外チームの指導者たちでは毎年参加している方々が多いのですが、今回も各国コーチ・父兄から日本側のおもてなし・レース運営等はとても素晴らしいものであったとの感想を頂き、各国ともに来年開催地の大分にも是非参加したいとの言葉を残してご帰国されました。

都民のための親子ヨット体験試乗会

競技会を後援いただいた東京都の都民還元事業として 8 月 5 日に親子体験試乗会を行い、10 家族 26 名の参加者がギグという動力付きヨット 2 艇に乗船し、セーリング体験を楽しみました。参加者からは「風がとても気持ちよかった」「エンジンを切った後の静かな中のセーリングが快適でした」等々、初めてのヨットを充分に楽しんで頂けたようです。



閉会式を待つ間に恒例となったカレーの昼食で腹ごしらえ



JJYU 会長特別賞「国内クラブ対抗レース」の上位 3 クラブ。右から、
第 1 位 江東区立小中学校セーリング部、
第 2 位 葉山町セーリング協会、
第 3 位 夢の島ヨットクラブ

閉会式

艇の片づけや帰り支度をしながら、エスピー食品株式会社ご提供のカレーで、恒例のコロッケカレーの昼食を楽しんだあと、ほぼ定刻通り閉会式を開始しました。

佐藤精知夫競技会副会長のご挨拶、高橋祐司レース委員長による成績発表、表彰式に続き、高間博之プロテスト委員長よりレース講評を頂きました。

小澤吉太郎先生の教えに沿うシーマンシップを称える特別賞には、本年は個人ではなく、みやこジュニアセーリングクラブが選ばれました。最後に、海外チーム指導者代表としてタイの Taweeyot Rattanaseen (タウイヨッ) さんにご挨拶を頂き、競技会は成功裏に終了いたしました。運営を全面的に協力いただいた東京都ヨット連盟様、飲料をご提供いただいたアサヒ飲料様はじめ、ご協賛、ご協力いただいた皆様に、感謝いたします。



小澤吉太郎特別賞
みやこジュニアヨット
セーリングクラブ



海外チーム指導者代表
(タイチーム) のご挨拶



「江東区長賞状・賞杯」
国際 420 級 林 玄君・田原隼宇君
葉山町セーリング協会



「東京都ヨット連盟会長賞状・賞杯」FJ 級 根本優樹君・寺田航君
早稲田学院高等学院ヨット部



国内個人対抗レース OP 級初級者入賞者



国内個人対抗レース OP 級上級者入賞者



国内個人対抗レース レーザー 4.7 入賞者



国内個人対抗レース FJ 級入賞者



国際交流個人対抗レース
レーザー 4.7 第 1 位
Lawson McAullay 君
オーストラリアチーム (右)



国際交流個人対抗レース
OP 級上級者 第 1 位
Phiranpat Sukontasub さん
タイチーム (右)



国内個人対抗レース
国際 420 級入賞者

第 26 回ジュニアヨット国 際親善東京レガッタ

2016年9月4日(日)
東京都立
若洲海浜公園ヨット訓練所

会場の若洲海浜公園ヨット訓練所

実施報告

実行委員会委員長
一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟
理事 **原田 浩二**



OP 級初級者スタート



レース/B 海面：訓練所前ボンド内

エントリー 30 名中、今年セーリングを始めた選手が数名、初めて公式レースに参加した選手が 10 名近くおりました。そこで、出艇の手順と、スタートの手順やレース後の待機場所などを事前に説明しました。予選を 3 つのディビジョンに分け、各組 10 名の選手が夫々 1 レースを行い、その順位に従って、決勝戦を 3 レース行う方式としました。

第 1 レースは風弱く風向も安定しないながら、10 時 10 分にスタートしました、引き続き風軸に合わせてマークを打ち変えて予選第 2 レースを行いました。その後風速が落ち、風向も安定しないことから、11 時 10 分に選手を全員陸上での待機とし、その間に昼食をとることとしました。

12 時過ぎに風向も安定してきたことから、午後のレースを再開。予選の各レースでは、2、3 名がスタートラインにオンタイムに着けなかったり、潮の影響を受けて第 2 マークの回航に手こずったりして選手たちは帆走に苦勞をしてい

たようです。決勝戦は、予選の結果から第 1 レースは予選 7、8、9 位、第 2 レースは予選 4、5、6 位、第 3 レースは予選 1、2、3 位の組合せとし、各クラスの 1、2、3 位は勝ち残りとして次の上位クラスのレースに参加できるようにしました。

結果は別紙に示す通りですが、葉山町セーリング協会の青山若生さんは予選、決勝とも全て 1 位で完全優勝でした。特筆すべきは、茨城県セーリング連盟ジュニアヨットクラブの加藤美海さんが、予選では 7 位でしたが、決勝第 1 レースで 1 位となり、決勝第 2 レースでも 2 位と頑張り、決勝第 3 レースでは 9 位に終わりましたが、4 レースに参加する頑張りを見せてくれました。

はじめに

第 26 回ジュニアヨット国際親善東京レガッタ(ミキハウスカップ東京 2016)は、9 月 4 日(日)に、東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所及び若洲沖で、外務省、文部科学省、東京都、公益財団法人日本セーリング連盟の後援と、三起商工株式会社(ミキハウス)の特別協賛及び大塚製薬株式会社の協賛を頂いて、一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟(以下 JJYU という)と東京都ヨット連盟との共同主催にて開催されました。

エントリー数は、OP 級上級者 22 艇、OP 級初級者 30 艇、レーザ 4.7 が 8 艇、合計で 60 艇でした。

開会式



開会式

8 時 30 分、主催者を代表して佐藤精知夫副会長から選手に向けて挨拶がありました。「この大会は、これまでに世界で活躍する選手を沢山輩出し、我が国のヨット界・スポーツ界にとって意義ある大会となっています。選手の皆さん、日頃の練習の成果を思う存分発揮することを願います。また、ご父兄・指導者にもお礼を申し上げます。」

開会式終了後、A 海面グループと B 海面グループに別れてスキッパーズミーティングが行われ、潮と川の流れの影響を受けやすい海面の特徴やレース進行について説明がありました。

B 海面のスキッパーズミーティング

レース/A 海面：若洲沖三枚洲付近

荒川の流れが速かったので、レース委員会艇やサポートボートの支援も得て全艇曳航でレースエリアへ向かいました。予定通りレーザ 4.7 の第 1 レース予告信号を 9 時 55 分に掲揚しましたが、8 艇全艇がスタートライン上に到着出来ず、やむを得ず回答旗を掲揚し、風待ちとしました。その後、舞浜方面からの安定したブローを待ち回答旗を降下、10 時 56 分オールクリアでスタートしました。

引き続き OP 級上級者はゼネラルリコールを経て、11 時 10 分にリコール艇なしでスタートしましたが、9 艇がスタートラインを時間内に通過出来ず DNS となりました。

レーザ 4.7 は、トップ艇の第 2 上マーク回航後に風が弱まったので、2 回目の下マーク手前でコース短縮しましたが、3 艇のみフィニッシュ残り 5 艇がタイムリミットとなっていました。

OP 級上級者も第 1 上マークをトップ艇が回航後に風が弱まったので、下マーク手前でコース短縮しましたが、3 艇のみがフィニッシュし、残り 10 艇はタイムリミットとなり、第 1 レースは DNS9 艇、DNF10 艇、フィニッシュ艇は 3 艇という結果になりました。

第 1 レース終了後、舞浜方面からのブローが極端に弱くなり、風待ちとしました。その後スタートラインを設定し直し、第 2 レースは、12 時 39 分にレー

ザー 4.7 がリコール艇 3 艇ありでスタート、OP 級上級者も 12 時 44 分にリコール艇 9 艇ありでスタートしました。レーザ 4.7 は次第に風速が弱まり、2 回目の下マーク手前でコース変更して全マークを回航してフィニッシュとなり、1 艇のみがタイムリミットとなりました。

OP 級上級者は第 1 マーク付近で風速が弱くなり、1 回目下マーク手前でコース変更した結果、3 艇のみがタイムリミットとなりました。

引き続き第 3 レースを OP 級上級者から実施することとして、13 時 39 分にリコール艇 13 艇ありでスタートしましたが、レーザ 4.7 は第 2 レースが 13 時 34 分 30 秒に終了したので、13 時 35 分以降には予告信号を掲揚出来ない帆走指示書に従って、やむを得ずハーバーバックとしました。

第 3 レースの OP 級上級者も第 1 上マーク付近で風速が弱まり、1 回目の下マーク手前でコース変更した結果、1 艇のみのタイムリミットで終了しました。



OP 級上級者



OP 級初級者



OP 級初級者



レーザ 4.7



OP 級初級者



OP 級初級者のレースを岸壁から応援



体験試乗会

在日外国人の体験試乗会

江東区のケイ・インターナショナルスクールの小学生10名と保護者7名の計17名が参加しました、デイクルーザーとギグに交代で分乗し、弱い風の中でもセーリングを楽しんで頂きました。お昼の弁当を食べたらもう一度乗りたいという希望が多く、子供達だけとか好きな家族同士で乗って楽しんで頂くことが出来ました。この中から、ヨットに乗る子供たちが出て来るのが楽しみです。



体験試乗会

体験試乗会



体験試乗会

OP級上級者優勝の渡辺信幸君(右)と上位入賞者



ミキハウス 執行役員
光川社長室長



高橋祐司レース委員長



佐藤精知夫
レガッタ副会長

クラブ対抗レース優勝の江東区立小中学校セーリング部代表者浜崎遼次郎さん



閉会式・親善パーティー

表彰式・閉会式・親善パーティーを16時に開始しました。キッチンカーから各テーブルに順次温かい食事が出されて、先ずは食べて、飲んで一息ついたところで表彰が始まりました。

クラス毎に入賞者に賞状、メダル、ミキハウスの副賞の授与が行われ、その栄誉を讃えました。特別協賛会社ミキハウスの光川執行役員社長室長から、OP級上級者優勝者の江東区立小中学校セーリング部渡辺信幸君にはクリスタルガラスのミキハウスカップとブレザー、OP級初級者優勝者の葉山町セーリング協会の青山若生さんにもクリスタルガラスのミキハウスカップが授与されました。

団体表彰のクラブ対抗レースは、江東区立小中学校セーリング部が優勝の名誉に輝き、JJYU会長特別賞の海外セーリング研修参加資格が授与されま

OP級初級者優勝の青山若生さん(右)と上位入賞者



した。
また、入賞できなかった選手たちによる恒例の「じゃんけん大会」では、たくさんのミキハウスグッズが順番に贈られていました。最後に高橋有樹プロテスト委員長のレース講評がありました。

最後に例年、特別協賛いただいている三起商事株式会社(ミキハウス)様をはじめ、大塚製薬株式会社様等の後援・協力をいただいている各団体様に感謝を申し上げ、報告とさせていただきます。



恒例の「じゃんけん大会」



閉会式終了後、全員で記念撮影



親善パーティー



MIKI HOUSE

実施報告

はじめに

2015年に、大阪においては2年ぶりの開催となったジュニアヨット国際親善レガッタですが、引き続き本年も外務省、文部科学省、公益財団法人日本セーリング連盟の後援と株式会社ミキハウスの特別協賛、大塚製薬株式会社、ゆうこうマリン株式会社の協賛、大阪北港ヨットクラブ、大阪北港ディンギークラブ、大阪北港マリーナ(株式会社ピード)の協力を得て、一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟(以下JJYU)の主催により、2016年10月15日(土)～16日(日)大阪北港マリーナとその沖合において第5回ジュニアヨット国際親善大阪レガッタ(ミキハウスカップ大阪2016)として開催いたしました。

優勝カップとブレザー



体験試乗会

初日の15日は在日の海外児童向けの試乗会を行い、「大阪YMCA インターナショナルスクール」より児童6名、父兄6名の参加がありました。大阪北港



クルーザーでのセーリング体験

ヨットクラブのご協力により、クラブ所属のクルーザー2艇に分乗して、初秋の大阪湾でのセーリングを体験して頂きました。

また午後にはアクセスディンギーに児童が試乗し、ポンド内を自らの操船で帆走しました。今回の試乗会で、ヨットへの興味を大いに持った子供達もいたようでした。



A海面艇長会議



親子で風を切り楽しそう

B海面艇長会議



大会運営本部本部長
一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟
理事 **玉置 純**



開会式

16日のレース当日は地元の大阪、兵庫をはじめ香川、三重より5クラブ、選手27名の参加があり、OP級上級者に13艇、OP級初級者に14艇の参加がありました。また、オープン参加としてアクセスディンギーで親子ペア1艇も加わりました。

9時から開会式が行われ、競技運営本部伊藤本部長(JJYU専務理事)より挨拶、特別協賛の株式会社ミキハウス執行役員社長室長光川彰夫様より選手たちへの激励の言葉、正円茂夫レース委員長(大阪北港ディンギークラブ会長)からの注意事項等の説明がありました。艇長会議の後、各艇出艇しレース海面へ向かいました。

競技運営本部
伊藤本部長の挨拶



いざ出発

アクセスディンギーの操船にもすぐに慣れました



参加者のみなさん



風を待ちながら海上で昼食

待ちに待った第一レースのスタート



上マーク回航



レース風景



レース

競技は、OP級上級者は淀川河口の沖合レースコースで、OP級初級者とオープン参加のアクセスディンギーは大阪北港マリーナのポンド内レースコースで実施しました。

レース風景

■A海面：大阪北港マリーナ沖合

当日は晴天に恵まれたものの、風が吹かず大阪北港マリーナ沖合のA海面では2時間近くの風待ちが続きました

が、12時過ぎに漸く吹き始め、3レースを実施することができました。上位の選手と下位の選手間での実力差も若干みられましたが、日頃の練習の成果を発揮してくれたものと思います。



大阪北港マリーナ



トップ争い



OP級上級者上位艇のフィニッシュ



OP 初級者はポンツーンの上でレースエリアを覗く様子。

■B海面：大阪北港マリーナポンド内

ポンド内のB海面も同じような風の状況でしたが、運営サイドの努力によりOP 級初級者にアクセスディンギーも加わり、4レースを行なうことができました。ポンド内のレースということで、参加選手の保護者やコーチによる多くの声援があり、非常に賑やかな雰囲気の中、選手にも印象深いものとなったと思われます。

上位艇のフィニッシュ前デッドヒート



レース風景

焼き肉に舌鼓



お腹一杯になったかな？

閉会式・親善パーティー

全レース終了後、表彰式・閉会式も兼ねた、親善パーティーをCafé Hemingway 前で行いました。大阪北港マリーナのスタッフが用意してくれた焼肉を自分たちで焼きながらのパーティーを楽しみながら表彰式を行いました。

表彰式では、各級の1～3位に金、銀、銅メダルと6位までに表彰状の授与を行いました。また、株式会社ミキハウス、ゆうこうマリン株式会社より提供頂いた賞品も副賞として授与しました。

OP 級上級者優勝者の三重県ヨット連盟ジュニア・ユースヨットクラブの服部友賀君にはミキハウスの優勝者ジャ



一斉に上マークに向かう選手達



快走するトップ艇



レースに熱い声援を送るギャラリイ達



クラブ対抗レース優勝のB&G 高松海洋クラブ



OP 級初級者優勝の藤井杏さん (B&G 伊丹海洋クラブ)

参加者全員で記念撮影

宇都宮プロテスト委員長 (大阪北港ヨットクラブ理事長) のレース講評



ケットと優勝カップ(持回り)が光川社長室長より授与されました。ミキハウスからの副賞授与には本レガッタ創設をされた桑原顧問(JSAF 副会長)も加わって頂きました。

OP 級初級者優勝はB&G 伊丹海洋クラブの藤井杏さん、クラブ対抗レース優勝(特別賞の海外セーリング研修への参加資格授与)はB&G 高松海洋クラブとなりました。

その後、宇都宮プロテスト委員長(大阪北港ヨットクラブ理事長)からレース講評とミキハウス光川社長室長よりご挨拶を頂きました。

さらにミキハウスより提供頂いた多くの飛び順位賞やジャンケン大会での賞

OP 級初級者入賞者の皆さん



ミキハウス光川社長室長ご挨拶



OP 級上級者優勝者の服部友賀君(三重県ヨット連盟ジュニア・ユースヨットクラブ)



OP 級上級者入賞者の皆さん

品授与があり、選手一同大いに盛り上がりました。

最後に本大会にご協力頂いた全ての関係者に感謝申し上げるとともに、来年の大会がより多くの参加者を得て充実したものとなるようご協力を重ねてお願いして、報告とさせていただきます。



国際交流ジュニアヨットクラブ競技会2017 成績 2017年8月4日(金)～6日(日) 東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所

OP 級上級者 参加定数 55艇														
Name 選手名	Sail No. セール No.	Club/Team 所属クラブ	1R		2R		3R		4R		5R		Final Score 確定得点	Rank of All Sailors 総合順位
			Finish 着順	Score 得点	Finish 着順	Score 得点	Finish 着順	Score 得点	Finish 着順	Score 得点	Finish 着順	Score 得点		
Chalisa krittanai	716	Thailand タイ	5	5	1	1	1	1	1	1	2	2	10	1
Phiranpat Sukontasub	963	Thailand タイ	6	6	2	2	2	2	5	5	1	1	16	2
岡田 爽良	3335	藤沢市青少年セーリングクラブ	2	2	11	11	3	3	6	6	3	3	25	3
藤森 佑太郎	3130	千葉ヨットビルダーズクラブジュニア	3	3	6	6	5	5	4	4	8	8	26	4
重松 駿	3176	夢の島ヨットクラブ	4	4	5	5	9	9	3	3	6	6	27	5
Hugo McMullen	4460	New Zealand ニュージーランド	1	1	15	15	4	4	7	7	9	9	36	6
鈴木 海翔	3320	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	17	17	8	8	7	7	9	9	5	5	46	7
梶山 真央	3292	江東区立小中学校セーリング部	7	7	3	3	8	8	13	13	23	23	54	8
重松 陽	3352	夢の島ヨットクラブ	25	25	4	4	11	11	2	2	17	17	59	9
後藤 凜子	3358	葉山町セーリング協会	21	21	9	9	13	13	11	11	10	10	64	10
Sean Liu	311	Hong Kong 香港	18	18	7	7	14	14	8	8	18	18	65	11
菅野 響	3184	清風学園 清風中学校	36	36	13	13	17	17	12	12	4	4	82	12
伊原 駿之介	3359	葉山町セーリング協会	10	10	25	25	6	6	20	20	24	24	85	13
中島 拓海	3365	横浜ジュニアヨットクラブ	13	13	12	12	18	18	28	28	15	15	86	14
古田 一步	3139	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	20	20	20	20	10	10	17	17	22	22	89	15
吉浦 弘太郎	3361	葉山町セーリング協会	9	9	14	14	27	27	29	29	14	14	93	16
LEE SEO JUN	463	South Korea 韓国	15	15	24	24	12	12	26	26	19	19	96	17
山田 真理歩	3296	YMFS ジュニアヨットスクール葉山	16	16	10	10	25	25	23	23	27	27	101	18
森 映心	2887	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	28	28	19	19	22	22	27	27	12	12	108	19
星野 高輝	3297	YMFS ジュニアヨットスクール葉山	14	14	DNF	58	19	16	16	7	7	7	114	20
池田 ももか	3363	江東区立小中学校セーリング部	12	12	16	16	26	26	22	22	39	39	115	21
Nick Shi	4049	New Zealand ニュージーランド	32	32	17	17	15	15	30	30	29	29	123	22
チャーチ 海	2892	葉山町セーリング協会	27	27	26	26	28	28	36	36	21	21	138	23
岡田 海洋	2943	藤沢市青少年セーリングクラブ	11	11	DNF	58	21	21	14	14	35	35	139	24
落合 創太	3179	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	38	38	18	18	35	35	24	24	26	26	141	25
神木 宏斗	3134	藤沢市青少年セーリングクラブ	34	34	22	22	24	24	44	44	30	30	154	26
上田 瑞	3302	葉山町セーリング協会	24	24	DNF	58	29	29	31	31	13	13	155	27
Steven Chen	317	Hong Kong 香港	44	44	DNF	58	20	20	18	18	16	16	156	28
尾崎 健人	3305	葉山町セーリング協会	8	8	DNF	58	23	23	34	34	36	36	159	29
肥後 滉佑	3304	葉山町セーリング協会	22	22	DNF	58	36	36	10	10	33	33	159	30
Pankov Matvei	555	Russia ロシア	23	23	DNF	58	16	16	39	39	25	25	161	31
宮本 あかり	3	夢の島ヨットクラブ	31	31	DNF	58	30	30	43	43	11	11	173	32
増本 拓	3188	藤沢市青少年セーリングクラブ	30	30	23	23	31	31	49	49	46	46	179	33
竹内 天悟	3286	藤沢市青少年セーリングクラブ	26	26	DNF	58	42	42	15	15	42	42	183	34
西田 帆七	2967	葉山町セーリング協会	42	42	DNF	58	37	37	19	19	34	34	190	35
堂園 佑和	3047	横浜ジュニアヨットクラブ	39	39	21	21	38	38	46	46	53	53	197	36
松岡 叶真	3291	江東区立小中学校セーリング部	49	49	DNF	58	49	49	25	25	20	20	201	37
Shilakina Mariia	741	Russia ロシア	43	43	DNF	58	41	41	21	21	40	40	203	38
青山 若生	2894	葉山町セーリング協会	29	29	DNF	58	45	45	47	47	28	28	207	39
Jake Hindmarsh	740	Australia オーストラリア	48	48	DNF	58	33	33	37	37	31	31	207	40
和田 真里奈	3129	藤沢市青少年セーリングクラブ	19	19	DNF	58	44	44	42	42	45	45	208	41
上條 久美子	3285	江東区立小中学校セーリング部	33	33	DNF	58	32	32	35	35	54	54	212	42
渡辺 信幸	3284	江東区立小中学校セーリング部	40	40	DNF	58	34	34	32	32	48	48	212	43
Shana Hester-Okayama	318	Hong Kong 香港	37	37	DNF	58	40	40	38	38	51	51	224	44
富永 晏史	3362	江東区立小中学校セーリング部	35	35	DNF	58	43	43	50	50	41	41	227	45
矢吹 優喜	3109	横浜ジュニアヨットクラブ	45	45	DNF	58	54	54	33	33	38	38	228	46
左近 綺音	3168	葉山町セーリング協会	54	54	DNF	58	47	47	40	40	32	32	231	47
Adam Hindmarsh	503	Australia オーストラリア	47	47	DNF	58	39	39	45	45	44	44	233	48
左近 麗咲子	3303	葉山町セーリング協会	41	41	DNF	58	48	48	41	41	47	47	235	49
古屋 音	2890	葉山町セーリング協会	46	46	DNF	58	52	52	48	48	43	43	247	50
角田 一瑛	3319	浅虫ジュニアヨットクラブ	51	51	DNF	58	51	51	54	54	37	37	251	51
LEE JAE HAK	462	South Korea 韓国	53	53	DNF	58	46	46	52	52	49	49	258	52
浅野 善	2992	葉山町セーリング協会	50	50	DNF	58	50	50	51	51	52	52	261	53
小山 すみれ	3241	江東区立小中学校セーリング部	52	52	DNF	58	53	53	53	53	50	50	266	54
庄野 湊	2121	いわきジュニアヨットクラブ	RET	58	DNF	58	RET	58	RET	58	DNF	58	290	55

OP 初級者 参加艇数 17 艇																
Name 選手名	Sail No. セール No.	Club/Team 所属クラブ	Heat.1 予選成績		1R		2R		Heat.2 予選成績		Final 1R		Final 2R		Final Score 確定得点	Rank of All Sailors 総合順位
			Score 得点	Rank 順位	Finish 着順	Score 得点	Finish 着順	Score 得点	Score 得点	Rank 順位	Finish 着順	Score 得点	Finish 着順	Score 得点		
中川 祐太	2940	江東区立小中学校セーリング部	6	2							2	2	1	1	3	1
飯塚 竜士	2990	江東区立小中学校セーリング部	8	6							1	1	5	5	6	2
北浦 菜月	3289	江東区立小中学校セーリング部	8	5							5	5	2	2	7	3
山口 悠吏	3220	夢の島ヨットクラブ	7	3							3	3	6	6	9	4
鈴木 しおん	332	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	13	9	2	2	1	1	3	1	9	9	3	3	12	5
結解 太郎	2139	YMFS ジュニアヨットスクール葉山	17	10	4	4	3	3	7	3	6	6	7	7	13	6
松原 啓悟	3175	江東区立小中学校セーリング部	6	1							4	4	10	10	14	7
森居 昂太郎	3066	YMFS ジュニアヨットスクール葉山	7	4							11	11	4	4	15	8
山口 瑛哲	2609	葉山町セーリング協会	12	8							7	7	9	9	16	9
三谷 帆風	3006	葉山町セーリング協会	18	13	1	1	2	2	3	2	10	10	8	8	18	10
三谷 帆澄	2608	葉山町セーリング協会	12	7							8	8	11	11	19	11
嘉手川 湮帆	2404	YMFS ジュニアヨットスクール葉山	17	12	3	3	7	7	10	4						12
上田 凜花	2607	葉山町セーリング協会	17	10	6	6	4	4	10	5						13
末吉 源	299	江東区立小中学校セーリング部	23	15	5	5	5	5	10	6						14
齋藤 零	2729	みやこジュニアヨットセーリングクラブ	20	14	7	7	6	6	13	7						15
庄野 伊織	2348	いわきジュニアヨットクラブ	25	16	9	9	8	8	17	8						16
水木 海治	5	みやこジュニアヨットセーリングクラブ	26	17	8	8	9	9	17	9						17

レーザー4.7 参加艇数 13 艇															
Name 選手名	Sail No. セール No.	Club/Team 所属クラブ	1R		2R		3R		4R		5R		Total Score 合計得点	【暫定成績 Provisional】	
			Finish 着順	Score 得点	Finish 着順	Score 得点	Finish 着順	Score 得点	Finish 着順	Score 得点	Finish 着順	Score 得点		Final Score 確定得点	Rank of All Sailors 総合順位
Lawson McAullay	202865	Australia オーストラリア	2	2	3	3	1	1	2	2	2	2	10	10	1
Harry Corston	196415	New Zealand ニュージーランド	1	1	2	2	RET	14	1	1	3	3	21	21	2
渡辺 桜香	209509	ユースチーム東京	4	4	5	5	2	2	6	6	4	4	21	21	3
荒木 智也	202603	江東区立小中学校セーリング部	3	3	4	4	3	3	9	9	6	6	25	25	4
Lubmova Uliana	202282	Russia ロシア	7	7	1	1	RET	14	5	5	1	1	28	28	5
Chakkaphat Wiriyakitti	193929	Thailand タイ	6	6	7	7	RET	14	3	3	5	5	35	35	6
AHN IN	193839	South Korea 韓国	8	8	6	6	RET	14	4	4	8	8	40	40	7
松岡 美波	1	いわきジュニアヨットクラブ	11	11	10	10	4	4	10	10	7	7	42	42	8
加藤 芯	151757	YMFS ジュニアヨットスクール葉山	5	5	9	9	RET	14	7	7	9	9	44	44	9
小原 奏慧	66016	江東区立小中学校セーリング部	9	9	11	11	RET	14	8	8	11	11	53	53	10
Pawarisa Pakdeeteva	207918	Thailand タイ	10	10	8	8	RET	14	11	11	10	10	53	53	11
渡辺 海帆	206768	いわきジュニアヨットクラブ	DNF	14	DNF	14	DNF	14	12	12	DNF	14	68	68	12
内田 裕啓	3	いわきジュニアヨットクラブ	DNF	14	DNF	14	RET	14	DNF	14	DNF	14	70	70	13

国際 420 級 参加艇数 7艇																
Name 選手名	Sail No. セール No.	Club/Team 所属クラブ	1R		2R		3R		4R		5R		6R		【暫定成績 Provisional】	
			Finish 着順	Score 得点	Finish 着順	Score 得点	Finish 着順	Score 得点	Finish 着順	Score 得点	Finish 着順	Score 得点	Finish 着順	Score 得点	Final Score 確定得点	Rank of All Sailors 総合順位
林 玄・田原 隼宇	55827	葉山町セーリング協会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	7	1
青山 知央・田原 瑠華	55790	葉山町セーリング協会	2	2	2	2	2	2	3	3	2	2	1	1	12	2
谷口 美羽・坂井 友里愛	54940	ユースチーム東京	4	4	4	4	4	4	2	2	3	3	3	3	20	3
霜島 裕介・多賀 雄祐	55061	早稲田大学高等学院ヨット部	3	3	3	3	3	3	4	4	5	5	5	5	23	4
中西 菊花・糟川 麻衣・村上 紗也	55217	東京都立日本橋高等学校ヨット部	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	28	5
浅井 颯斗・金子 達哉	55407	早稲田大学高等学院ヨット部	7	7	6	6	DNF	8	6	6	7	7	6	6	40	6
佐野 冬依・澁谷 勇輝・藤波 依尊	55052	東京都立日本橋高等学校ヨット部	6	6	RET	8	RET	8	7	7	6	6	7	7	42	7

MIKI HOUSE CUP TOKYO 2016 第 26 回ジュニアヨット国際親善東京レガッタ成績 2016 年 9 月 4 日 (日) 東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所

OP 級上級者		参加艇数	22 艇					
氏名	セール No.	所属クラブ名	1R		2R		最終成績	
			順位	得点	順位	得点	順位	得点
渡辺 信幸	3284	江東区立小中学校セーリング部	2	2	5	5	14	1
重松 陽	3352	夢の島ヨットクラブ	DNS	23	1	1	25	2
宮本 あかり	3345	夢の島ヨットクラブ	DNF	23	3	3	28	3
肥後 滉佑	2892	葉山町セーリング協会	DNS	23	10	10	39	4
松岡 叶真	2990	江東区立小中学校セーリング部	1	1	DNF	23	47	5
上田 瑞	2992	葉山町セーリング協会	DNS	23	2	2	48	6
重松 駿	3176	夢の島ヨットクラブ	DNS	23	OCS	23	49	7
富永 晏吏	2389	江東区立小中学校セーリング部	3	3	OCS	23	49	8
関根 巧	3096	千葉ヨットビルダースクラブジュニア	DNF	23	OCS	23	50	9
松岡 尚吾	2890	葉山町セーリング協会	DNS	23	4	4	50	10
高橋 一天	2834	茨城県セーリング連盟ジュニアヨットクラブ	DNF	23	OCS	23	51	11
池田 ももか	2811	江東区立小中学校セーリング部	DNF	23	6	6	52	12
富松 志帆	2993	葉山町セーリング協会	DNF	23	7	7	53	13
梶山 真央	3175	江東区立小中学校セーリング部	DNS	23	OCS	23	54	14
青山 知央	3302	葉山町セーリング協会	DNF	23	8	8	54	15
木場 凜子	6	江東区立小中学校セーリング部	DNS	23	9	9	55	16
山本 育生	3230	藤沢市青少年セーリングクラブ	DNS	23	OCS	23	69	17
山守 ちひろ	3285	江東区立小中学校セーリング部	DNF	23	OCS	23	69	17
上條 久美子	2728	江東区立小中学校セーリング部	DNF	23	DNF	23	69	17
小山 すみれ	3214	江東区立小中学校セーリング部	DNF	23	DNF	23	69	17
吉浦 弘太郎	3303	葉山町セーリング協会	DNS	23	OCS	23	69	17
浅野 蒼	3306	葉山町セーリング協会	DNF	23	OCS	23	69	17

OP 級初級者		参加艇数	30 艇								
氏名	セール No.	所属クラブ名	予選成績		決勝 (ブロンズ)		決勝 (シルバー)		決勝 (ゴールド)		総合順位
			着順	順位	着順	順位	着順	順位	得点	順位	
青山 若生	2607	葉山町セーリング協会	1	1					1	1	1
白石 尚也	2858	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	5	5			1	1	2	2	2
左近 麗咲子	3169	葉山町セーリング協会	2	2					3	3	3
菅野 こころ	990	夢の島ヨットクラブ	2	2					4	4	4
チャーチ 海	2609	葉山町セーリング協会	2	2					5	5	5
山口 悠史	2478	夢の島ヨットクラブ	1	1					6	6	6
伊東 采美	317	夢の島ヨットクラブ	1	1					7	7	7
上野 誠悟	2931	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	3	3					8	8	8
加藤 芙海	2798	茨城県セーリング連盟ジュニアヨットクラブ	7	7	1	1	2	2	9	9	9
伊東 佑真	661	夢の島ヨットクラブ	3	3					10	10	10
中川 祐太	01	江東区立小中学校セーリング部	3	3					11	11	11
佐藤 璃奈	2874	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	6	6			3	3	12	12	12
森居 昂太郎	07	YMFS ジュニアヨットスクール葉山	5	5			4	4			13
松岡 達也	3168	葉山町セーリング協会	4	4			5	5			14
森 映心	09	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	5	5			6	6			15
伊藤 響達	05	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	6	6			7	7			16
染谷 虎太郎	36	YMFS ジュニアヨットスクール葉山	4	4			8	8			17
土屋 颯策	3170	葉山町セーリング協会	6	6			9	9			18
飯塚 竜士	06	江東区立小中学校セーリング部	11	7	3	3	10	10			19
森 健了	08	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	4	4			11	11			20
松原 啓悟	32	江東区立小中学校セーリング部	8	8	2	2	12	12			21
大槻 花音	30	江東区立小中学校セーリング部	11	7	4	4					22
福田 紗里奈	34	江東区立小中学校セーリング部	11	7	5	5					23
佐竹 祐多磨	33	江東区立小中学校セーリング部	11	7	6	6					24
小林 蒼悟	2729	江東区立小中学校セーリング部	11	7	7	7					25
松波 琢磨	2888	YMFS ジュニアヨットスクール葉山	11	7	8	8					26
北浦 菜月	10	江東区立小中学校セーリング部	11	7	9	9					27
末吉 源	90	江東区立小中学校セーリング部	10	10	10	10					28
曾 子誠	04	江東区立小中学校セーリング部	9	9	11	11					29
山本 伊織	02	江東区立小中学校セーリング部	11	7	12	12					30

レーザー 4.7 参加艇数 8 艇												
氏名	セール No.	所属クラブ名	性別	年齢	1R		2R		3R		最終成績	
					順位	得点	順位	得点	順位	得点	得点合計	総合順位
三浦 帆香	196480	千葉ヨットビルダースクラブジュニア	女	13	3	3	1	1	中止 (再レースは実施しない)		4	1
中島 優揮	156068	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	男	14	2	2	2	2			4	2
谷口 美羽	66016	江東区立小中学校セーリング部	女	14	1	1	OCS	9			10	3
吉田 奈織	112659	江東区立小中学校セーリング部	女	14	DNF	9	3	3			12	4
田中 雄也	69821	横浜市民ヨットハーバージュニアヨットクラブ	男	15	DNF	9	4	4			13	5
荒木 智也	147470	江東区立小中学校セーリング部	男	12	DNF	9	OCS	9			18	6
小原 奏慧	127398	江東区立小中学校セーリング部	女	12	DNF	9	DNF	9			18	6
蝶野 宇保	103860	江東区立小中学校セーリング部	男	12	DNF	9	OCS	9			18	6



MIKI HOUSE CUP OSAKA 2016 第 5 回ジュニアヨット国際親善大阪レガッタ成績 2016 年 10 月 16 日 (日) 大阪北港マリーナ

OP 級上級者		参加艇数	13 艇							
選手名	セール No.	所属クラブ名	1R		2R		3R		合計得点	総合順位
			順位	得点	順位	得点	順位	得点		
服部 友賀	2304	三重県ジュニア・ユースヨットクラブ	2	2	1	1	3	3	6	1
鶴本 優士	3253	B&G 高松海洋クラブ	1	1	6	6	1	1	8	2
旭 夏希	3254	B&G 高松海洋クラブ	3	3	3	3	2	2	8	3
勝田 実莉	3250	B&G 高松海洋クラブ	4	4	5	5	4	4	13	4
川北 百華	3232	三重県ジュニア・ユースヨットクラブ	5	5	2	2	7	7	14	5
木村 幸希	2884	赤穂ヨットクラブ	8	8	4	4	5	5	17	6
上田 蒼太郎	8	赤穂ヨットクラブ	7	7	7	7	9	9	23	7
黒田 開	3	B&G 高松海洋クラブ	9	9	8	8	10	10	27	8
酒巻 佑成	06	B&G 高松海洋クラブ	11	11	9	9	8	8	28	9
伊丹 大登	3252	B&G 高松海洋クラブ	13	13	10	10	6	6	29	10
佐多 乙哉	2475	三重県ジュニア・ユースヨットクラブ	6	6	13	13	11	11	30	11
服部 りら	2447	三重県ジュニア・ユースヨットクラブ	10	10	12	12	12	12	34	12
中山 裕文	2882	B&G 高松海洋クラブ	12	12	11	11	13	13	36	13

OP 級初級者		参加艇数	14 艇									
選手名	セール No.	所属クラブ名	1 R		2 R		3 R		4 R		合計得点	総合順位
			順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点		
藤井 杏	2949	B&G 伊丹海洋クラブ	1	1	1	1	1	1	1	1	4	1
西尾 優輝	3217	B&G 伊丹海洋クラブ	2	2	5	5	3	3	2	2	12	2
藤原 偉吹	2711	B&G 伊丹海洋クラブ	7	7	2	2	2	2	5	5	16	3
藤原 星芽	2689	B&G 伊丹海洋クラブ	5	5	6	6	4	4	3	3	18	4
中村 遥斗	3121	三重県ジュニア・ユースヨットクラブ	4	4	8	8	5	5	7	7	24	5
積木 海人	802	三重県ジュニア・ユースヨットクラブ	9	9	3	3	9	9	4	4	25	6
中山 佳子	03	B&G 高松海洋クラブ	3	3	7	7	6	6	9	9	25	7
岩崎 翔太	10	大阪ジュニアヨットクラブ	6	6	4	4	10	10	6	6	26	8
小川 凜己	8	大阪ジュニアヨットクラブ	11	11	9	9	7	7	12	12	39	9
鶴田 奏	9	大阪ジュニアヨットクラブ	8	8	10	10	12	12	10	10	40	10
田島 壮大	2525	三重県ジュニア・ユースヨットクラブ	10	10	12	12	11	11	8	8	41	11
古市 慧海	04	B&G 高松海洋クラブ	12	12	11	11	8	8	11	11	42	12
旭 理佐	05	B&G 高松海洋クラブ	13	13	14	14	13	13	13	13	53	13
東谷 虎太郎	3216	B&G 伊丹海洋クラブ	14	14	13	13	OCS	15	14	14	56	14

2016年度海外セーリング研修報告―パース

一般社団法人 日本ジュニアヨットクラブ連盟 国際委員会 理事 佐藤公俊
理事 青山義弘



パース到着後RPYCでの昼食。
左から、青山若生さん、田原隼宇
君、和田真里奈さん、増本拓君、
村野龍典君、坂井友里愛さん

研 修 先 : Perth, Australia
(Royal Perth Yacht Club,
Dinghy Mini Series 2017)

研修期間:平成29年2月1日(水)~8日(水)

参加選手:東京都ユースセーリングチーム
村野龍典君、坂井友里愛さん
藤沢市青少年セーリングクラブ
和田真里奈さん、増本拓君
葉山町セーリング協会
田原隼宇君、青山若生さん

合同練習中1



合同練習中2

トワイライトクルージング

レーザー 4.7 レース 1



OP レース 1



OP レース 3

OP レース 2



レーザー 4.7 レース 2



レーザー 4.7 レース 3



レース前ミーティング

2月1日20:00に羽田空港国際線ターミナルシンガポール航空カウンター前に全員集合し、22:50 発SQ635でシンガポール経由パース、オーストラリアへ向け出発。

2月2日12:55 パース国際空港に到着。約15時間の長旅でした。

空港に Royal Perth Yacht Club (RPYC) の Ray さん、Michael さんが迎えに来て頂き RPYC へ。遅い昼食をとりクラブを案内して頂いた後、選手6名はホストファミリーと対面しそれぞれの家庭へ向いました。我々2名は Ray さんの車で RPYC から10分程の Mounts Bay Waters Apartment Hotel へ。

2月3日練習日。暑さもあり午前中ゆっくりフィッティング。不備などがあるとクラブの方が親切に対応をして頂いた。昼食は大きなソーセージがのったホットドッグで、BBQソース・トマトソースをかけて選手皆が完食しました。13時からいよいよ待ちに待った AUS でのセーリング。小さな砂浜から浮かべ、狭く浅いところから上手に出艇。沖に向かうにつれて風が徐々に強くなりましたが最大で15ノット平均11ノット。OPのレース海面で練習した後、レーザーはレーザーのレース海面で帆走し15時に着艇。海面としてはOPの方が波は大きく風もシフトでした。夕方 RPYC 元会長 Tony さん所有の40ftクルーザーでトワイライトセーリング。ジブセールだけで7ノットのスピードとヒールで選手たちは大はしゃぎでした。その後は RPYC 主催のバイキングで楽しくディナーを頂き、選手はホストファミリーと各家庭へ。

2月4日レース初日。8:30 プリーフィング、9:45 の予告信号でしたが、朝は南の風が弱くて安定せず最初のスタートは1時間後になりました。南西の風でマークセッティングされると12~15ノットの風が安定しはじめ、OP・レーザー共に3レースが行われました。13時過ぎまで飲



み物以外何もとれなかったので選手にとっては少しハードでした。昼食後、午後は1レースが実施され、その頃には20ノットを越える風となり OP 4年生組はヘトヘトでしたが自力で帰着しました。レーザーについてはOPのサポートに追われ、2レース目のスタートと2レグまでしか見られませんでした。スタートは決まっていたがダウンウィンドで苦戦していました。本日はOP・レーザー共に4レース消化。夕方、選手はホストファミリーと各家庭へ。
レース参加艇数:130艇(全8艇種)
A海面:レーザー4.7 19艇、ラジアル 12艇、スタンダード 8艇、420 7艇、29er 11艇
B海面:OP ゴールド 26艇、OP シルバー 21艇、Open Bic 26艇

2月5日レース最終日。9:30の予告信号、朝は東の風が弱く1レース目は6~10ノット位、その後徐々に弱くなり2~7ノットと軽風でのレースとなりました。右左にシフトが大きく不規則で風の強弱もあり、きちんとシフトがわかる選手とそうでない選手で大きな差がつくレースでした。OPは過酷にも13時以降の帰着となる4レース実施。昼食後は無風になるまで風が落ちるなか1レースを実施しました。レーザーについてはゴムボートが不足という事で午前中にシンガポールのコーチボートに同乗したため、サポートが出来なくなってしまいました。本日はOPは5レース、レーザーは3レース消化。OPの選手は結果よりも、暑い中休憩もないままよく頑張ってレースを完走したと思います。

帰着後、艇の片付け返却もほとんど自分達できれいにやり遂げ閉会式に参加しました。閉会式ではJJYUを代表して佐藤が謝意を表し記念品を贈呈。日本選手は持参したお土産をオーストラリア選手へ手渡し、最後まで交流を楽しんでいました。

2月6日観光とショッピング。各々ホストファミリーに送って頂きフリーマントル駅に10時集合。フリーマントルはアメリカズカップでオーストラリアが初めてアメリカを下しカップを持ち帰った地で、そこに RPYC Fremantle Annex があります。RPYC Andrew さんに紹介されたハーバーマスター Clam さんの案内でハーバーを視察。その後、本年末にフリーマントルで開催される国際420級世界選手権のホストクラブである Fremantle Sailing Club を視察。とてもきれいな環境にある立派なクラブでした。昼食で美味しいシーフードを食べた後、フリーマントルマリタイムミュージアムを見学。そこにはアメリカズカップ優勝艇「オーストラリアII」も展示されていました。午後3時半に電車でパースへ戻り、市内中心地でショッピングを楽しみました。午後6時に選手はホストファミリーと各家庭へ。

2月7日午前10時、Ray さん、Michael さんの車で空港へ送って頂きました。14:15 発SQ226で羽田へ向け出発。2月8日朝6:20羽田空港にシンガポール経由で到着。お迎えに来て頂いたご家族に選手6名を引き渡し、無事、一週間の研修を終了しました。



フリーマントル

2016年度海外セーリング研修報告—シンガポール

一般社団法人 日本ジュニアヨットクラブ連盟 理事 小野澤 秀典



見学を訪れた
チャンギヨット
クラブにて



海外参加者のバーティで
インドのチョコレート
デザートを
引き渡された艇を
きれいに水洗い



レース前に
帆走指示書の
ブリーフィング



突然のスコールで潮出し
(チャンピオンシップ3日目)

シンガポール研修に参加して

B & G高松海洋クラブ 旭 夏希

今回、シンガポールでの海外セーリング研修に参加させていただき、ありがとうございました。私が、今回、助かったり、印象的だったり、勉強になったことを書きます。

シンガポールに着いてすぐ、空港で、トランクのカギがないことに気づきました。私は、「どうしよう。荷物が出せない。」とあわて、カギを壊したり、ピッキングで開けようかと思いましたが、事情を知ったリンさんがカギ屋さんに連れて行ってくれて、とても助かりました。トランクのカギが開いたときは、ほっとしました。今回の研修を通して、リンさんやジョアさんが、私たちのことを考えて親切にしてくれたおかげで、シンガポールで楽しく過ごすことができました。

2017年3月12日(日)から20日(月)の9日間に亘り、江東区立小中学校セーリング部の3名、B & G高松海洋クラブの3名、JJYU中川常務理事、高松の保護者の旭康一さん、私の9名で、シンガポールセーリング連盟のナショナルセーリングセンター(NSC)さんの協力のもと、海外セーリング研修を実施しました。

3月13日(月) シンガポール到着

前夜に羽田空港を飛び立ち、朝6時過ぎにシンガポールのチャンギ国際空港に到着、Ling YingさんJoaさんに出迎えていただき、NSCのドミトリーにチェックインしました。

ひと休みしたあと、豪華なチャンギヨットクラブの見学やショッピングを楽しんでから、夕方は、シンガポールユースセーリングチャンピオンシップ(チャンピオンシップ)にミャンマー、タイ、インドネシア、マレーシアなどの東南アジアから参加する選手のミニパーティに参加しました。

3月14日(火) チャーター艇受け渡し、練習

新艇に近いOPヨット6隻受け取り、水洗いをしてセールをセットしたあと、NSCのキャンティーンの売店でナジゴレンなどの美味しいランチをとって練習に出艇しましたが、無風となり潮の流れも強かったので3時ごろには切り上げました。

3月15日(水) チャンピオンシップ1日目、ホームステイ開始

OPクラスはゴールドクラスが136隻、シルバークラスが100隻、その他レーザー4.7、バイト、420などを入れると全部で300隻を超える参加となり、また東南アジア各国以外にも、ブラジル、ドイツ、コスタリカ、アメリカからも参加し

ナショナルセーリングセンターに着き、付近を散歩してみて、その大きさに驚きました。セーリングセンターの中には、チャーハンやお菓子、飲み物を買っているお店や、ヨット用品を買っているお店がありました。たくさんのヨット用品を買っていて、とても便利だと思いました。セーリングセンターには、お店だけでなく、ドミトリーもあり、泊まれるようになっていました。クーラーや扇風機があって、とても快適でした。

ナショナルセーリングセンターで印象的だったのは船の多さです。船がすごくたくさんあったので、これなら色々な国のセーラーに船を貸せるなと思いました。

また、初日に見学したヨットハーバーには、ヨット用品のお店もありましたが、プールがあったり、パーティをするような場所まであって驚きました。ホームステイ先には、3泊4日お世話になりました。8時から14時の4人の子供がいて、にぎやかでした。一番仲良かったのが、次女のレイアちゃんです。私より1才年上の12才でした。ヨットの

ており、20ヶ国近い国際色豊かな大会になりました。

午後から3レースを実施しましたが、第1レースは風が1m～3m/s、炎天下70分の耐久レース、第2レースは、3m/s程度の軽風、第3レースは5m～6m/sの最高のコンディションでのレースとなりました。全員完走しましたが、世界トップレベルの東南アジアの中では半分から上の順位でフィニッシュすることがなかなか難しく、ゴールドクラス約70位の旭夏希さんがが最高の成績でした。

今日からホームステイが始まります。午後7時にホストファミリーとのミーティングが行われ、6人の子供達はそれぞれのシンガポールの家族の元に荷物を持ってドミトリーを出ていきました。

3月16日(木) チャンピオンシップ2日目

子供達はホストファミリーの車でNSCに集まって来ました。ホームステイは皆そろって楽しかったとのことでした。

第4レースから第7レースにかけて風速も上がってきて、最終的には8m/sの最高のコンディションでレースが行われ、参加した4人の子供たち(熱中症の可能性もあり山守ちひろさんと小山すみれさんは今日のレースの参加を取りやめました。)は、無事4つのレースを完走し

順位も同じくらいで、最初は私のほうが上位でしたが、レイアちゃんは、3日目のレースでトップを取ったりして、最後はレイアちゃんが上になりました。私もトップを取ってみたいと思いました。ホームステイ中は、みんなとゲームをしたり、映画を見たりしました。一番驚いたのは、夜にはシャワーを浴びずに朝にシャワーを浴びていたことです。みんな意外に夜遅くまで起きていて、子供の寝る時間と大人の寝る時間がほとんど同じでした。

ご飯は、エビフライ、ハンバーガー、からあげなど、日本とさほど変わりませんでした。スーパーに買い物に行きましたが、物価は日本よりも高いくらいでした。

今回、英語はあまりしゃべれなかったけれど、スマホの翻訳機能を使ったり、ジェスチャーを使ったりして、何とか伝わったと思います。ヨットレースの審問するのは難しいかもしれないけれど、日常生活は何とかなりそうだと思います。

今回、すごく楽しかったので、また、このような機会があれば、ぜひ、参加したいです。



OP級Aクラスのスタートと
クラブのプロコーチ



OP級Aクラスの上位選手たちのスタート



大観覧車(シンガポール・ライオン)の中で
夜景を堪能



2kmの距離をロープに吊り下がる
MegaZipにチャレンジ!



OP級Aクラスに参加した
山守さん(3242)と伊丹君(3252)



左から、中川常務理事、渡邊信幸君、
山守ちひろさん、小山すみれさん、旭夏希さん、
伊丹大登君、谷濃太郎君、旭康一さん、
小野澤理事



オーチャード・ロードで
ショッピング



ホストファミリーと
一緒に記念撮影

夜は皆でマリナ・ベイ・サンズに出かけました。6名ともにレースの疲れはどこかに飛んで行ってしまったようです。東洋一のシンガポール・フライヤー(大観覧車)に乗って、素晴らしい夜景を見て、ショッピングモールに行って噴水ショーを見て、午後11時にドミトリーに戻りました。

3月19日(日) 現地最終日

朝からセントーサ島へ向かい、MegaZip というロープで山の上から海面の島までの約2kmの距離をロープにつり下がって降りて行くアクティビティにチャレンジしました。午後は全員でオーチャード通りに行き、アイオンショッピングモールのフードコートで昼食を取ってから、高島屋と伊勢丹の向かいにある東南アジア系の集合ビルでクラブや学校の友人のお土産の買い物をしました。

ドミトリーに戻りパッキングし、午後7時30分にNSCで用意したバンで、Pei Mingさんにチャンギ国際空港まで送っていただきました。空港に来ていただいた、Ling Yingさん、Joaさんたちと、最後に記念撮影をしてお別れを惜しみながら、午後10時30分にチャンギ国際空港を飛び立ちました。

チャンギ国際空港から
出発前にLingYingさんと記念撮影



ジュニアヨットクラブの指導者・コーチの皆さんへ

第3回

10. 指導者・コーチに期待すること

(1) 一般教養としてのヨット

これまで述べてきたように、JJYU が登録クラブに期待するのは学校教育に於ける一般教養課程であって、大学に於ける専門課程ではない。今少し分かり易く言えば、近代明治以降の中産階級がその子弟を社会に送り出す前の「嗜み」として通わせた剣道、柔道、書道、茶道、華道、更には琴、三味線、舞踊などの習い事としての道場・教室・私塾の概念である。この流れは現代にも引き継がれ、各種スポーツクラブ、音楽教室、バレエ教室が校外活動として盛んである。勿論、これ等の中には家元や宗家の系統で幼少期から専門課程に入るように、現代でもスポーツ界、音楽界などで世界を目指す英才教室があって、体操・卓球・スキー・ジャンプ・ピアノ・ヴァイオリン・バレエなど運動能力と感性が幼少期で花開く英才教育の成果を示すニュースに事欠かない。「世界的なメダリストやコンクール勝者がそのジャンルの裾野を広げる」と「広い裾野がその頂上を押し上げる」の両論があるが、企業もメディアも国家も「メダル一個で何億円」が取沙汰されるように、前者即ち英才教育の肩を持つ風潮は否定し得ない。しかしそれは短期的には効果は認めるものの、20 年 30 年の国家経営の観点では後者の考えで普及を企むべきであると筆者達は信じている。校外活動に参加している子供の 99% 以上はこの「嗜み」を人生の糧とし、底堅い日本文化を造り上げている筈である。

(2) クラブ活動を運営する側の価値観と意志の統一

英才教育の基本はマンツーマンであり、複数対象でも人数は極く限られてくる。野球・サッカーなどの団体競技は人数は多くなるが、これもポジション別に分割されるから英才教育は少人数しか成立たない。

ジュニアヨットでも英才教育はあって当然よい訳であるが、英才教育と一般教養を併存させるのは極めて難しい。小規模なクラブであれば英才 or 教養のいずれか一方で済むが、規模の大きい (15 人以上?) クラブでは英才 & 教養の併存になり易く、直接指導に当たる人は担当を明確に分けて用意するべきである。クラブによっては上級者＝英才、初級者＝教養の安易な分け方で運営しているところがあるが、保護者や生徒と相談して決めるべきと思う。つまり 2 つのコースではカリキュラムや生徒への規律・待遇など指導エネルギーの配分や技術指導と生活指導の比率も変わるから、その事を保護者や生徒に理解を得ておく必要がある。この場合、保護者や生徒は英才教育を希望しがちになるから、指導者は自戒すべきである。クラブ活動の中で問題が生ずるのは、この親や子供との意思疎通が不明確なまま放置されることと、組織内の代表・主任指導者・コーチのピラミッドの中で価値観や指導方針の不統一が顕在化した時である。JJYU の競技会にあってもこの同一クラブ内の不統一や連盟の一般教養的コンセプトを混同した言説が今なお跡を絶たないのは残念である。

(3) ボランティア (Volunteer) の功罪

ジュニアヨット人口の過去 15 年の減少は著しく、JJYU 登録クラブも半減して憂うべき状況である。長期に亘る不況、少子化、施設や保有機材の老朽化、第一世代指導者の引退と後継者の断絶、JJYU 競技会の魅力減少など複合的な要因があるが、そんな中で現在も子供達へ献身的なボランティア精神で指導されている先生やコーチの皆さんには唯々頭が下がるばかりであり、この紙面を借りて深く敬意を表したい。ところでここに述べたボランティアはその語義である「喜んで、進んで」をそのまま体现された態度であるが、他方では町内会の役員が回ってきたり、定年後の低報酬勤務を評して自嘲的に「ボランティアで

(一般社団法人)
日本ジュニアヨットクラブ連盟
副会長
安井清



すよ」という時は「喜んで・・・」とは正反対の「嫌々ながら・・・」(unwilling) になったりする。多くの校外活動クラブと同様に、ジュニアヨットクラブの多くは自然発生的な任意団体であり、そこで子供を世話している指導者やコーチは正当な報酬を伴わない奉仕が大半であろう。そんな活動の中で仲間や保護者から不満や非難の声があがると、無報酬や義理の過激な言葉を避けて「ボランティアだからそこまで言われたくない」のようにボランティアが使われる。筆者自身も正直に告白すれば、年齢 80 歳を前に元々なかった体力、知力、気力の全てが衰え、とすると会務が充分果たせない時に、「所詮ボランティアだから許して貰おう」の言い訳が胸を横切る。しかし、たとえ無報酬のボランティアであっても子供の心と身体を健康を預かる以上、その責任は法的には酌量されようと社会倫理レベルで重いことの自覚がなければならない。それは同じ条件で活動する仲間に対しても同じである。「ボランティア」は本来の意味で自分を励まして欲しい。

国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会 2017 の表彰式にて
タイ選手らと



安井清副会長は、長年にわたり JJYU の指導委員会委員長として、指導者研修会などの講師を務めてこられました。今回、これまでの講義内容をベースに、新たに加筆していただき、子供たちにヨットを教える指導者の皆さんへの「指導書」としてとりまとめ、ユースセーリング No.84、No.85 と連載してまいりました。今回は、三回連載の最後、これで完結いたします。安井副会長、どうもありがとうございました。

(4) お金の問題

「報酬」が出たところで、お金の話もおきたい。下表はジュニアヨットクラブの財務面での在り得る姿の概要である。クラブ側の収入源は公的助成、民間協賛、個人の慈善など種々であろうが、ジュニアヨットクラブの殆んどは B ～ D の間のどこかで運営されていよう。そしてクラブの役員や指導者は概ね C 以上の報酬ゼロで運営されているのではないか？

	保護者側	クラブ側
A	衣食住以外 全てお任せ (月謝ゼロ)	衣食住以外 全額負担
B	活動補助 (労力) 提供 実費一部負担	施設・機械・管理間接費
C	会費納入	実費精算 (交通費等)、コーチ報酬
D	月謝納入	報酬受領 (指導者・コーチ)
E	上納金 (寄付)	利益確保

11. クラブの成立ちと指導者の関係

過去 40 年、全国で誕生したジュニアヨットクラブの形態は様々であり、その規模

そしてクラブ側、保護者側の負担比率の大小を問わず、収支特に支出についてはトラブルの種を常に内在させているが、ここでも無報酬やボランティアの言い訳は無力となる。そしてクラブの会計上の数値の透明性を常に保つことが求められる以上に、会計上に現れない保護者とクラブ側の人間との間の金品授受が大きな問題になることを指導者・コーチは肝に銘じておく必要がある。

る光景も見られる。日本の場合も、一般的に上部組織によって指導者が推薦又は任命され、コーチの採用は指導者に任されているようだ。

類型Ⅱ 個人又は複数の仲間 (大人) が施設を独自に調達して自らが指導者となり独立組織として運営するもの

動機が自分 (達) の子供に教えることから始まるケースが多く、親の入れ込みが強くなるが、その分、子供が卒業するとその熱意が冷めて先細りになる傾向がある。既存のクラブを活用する場合もあるが、親の熱意がクラブ内での発言力を増し、クラブの変質につながることもある。しかし並々ならぬ親 (達) の熱意もあって子供は腕を上げ、代表選手権へ成長するケースも多く、それなりの人数規模 (20 ～ 30 人) の時期をもつ。上述の傾向からクラブの方針は英才教育となり勝ちで、コーチの人選もレーサー型となる。熱心な先生が発起人となる中学校ヨット部もこのカテゴリーで、自分の子供の代わりに自分の生徒が対象になる。しかしこの場合も、当の熱血教師が転任や昇格すると同時に後継が絶えて廃部になるのも同じで、かつて JJYU に 6 校 (温海、射北、山中湖、磯辺第一、夜須、中村学園山陽) が登録してインターミドル大会を行っていた時期があったが、現在は休部になった学校や、活動しているが JJYU の登録をやめてしまっている。このケースは英才教育というより一般教養に近く、熱心な教師は専門家としても、コーチは同僚のシロート教師が協力するので、学校の部活の延長で責任体制が考慮されている。

類型Ⅲ 潮気たっぷりで子供好きの篤志家が寺子屋 (住み込みもあり) 形式で公共又私的施設で始めるもの

数人の生徒 (自分の子供も含まれる) に手ほどきしているうちに近在の親達の評判が広がり、それなりの教室規模になるもの。保護者からの信頼が強く、個人経営

選任上の評価項目

(1) 人格面

熱意、使命感、安全意識（自己技倆）、気質（感情抑制力）、児童への関心（公平性）、スポーツマンシップの理解度

(2) 技術面

ヨット歴、海洋技術全般（免許、気象海象、操艇、修理、救助）、競技規則知識、レース運営

(3) 私生活面

定職の有無、家庭環境、勤務形態（活動可能時間）

就任後のチェックポイント（シーズンの中間と終期）

(1) 子供関係（公平性、指示・指導の明確化、暴言・暴力・体罰など）

(2) 保護者関係（公平性、信頼性、理解力→定例懇談会）

(3) 上部組織関係（報告、連絡、相談の密度→定例報告会）

(4) 外部団体関係（研修会、業者、友誼クラブ）

就任前の約束事

(1) 報酬、謝礼、実費精算等、負担の取決め

(2) 役割分担、権限と責任の範囲

(3) 禁止事項、解任要件

国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会 2016 の表彰式にて優勝者と



で教育方針は一貫しているからクラブ内のトラブルは極めて少ない。

筆者は連盟の仕事に関わって 25 年になるが、このタイプの活動現場を見学する貴重な経験を得た。島田重司先生（小樽）、三沢博敬先生（新潟）、内藤武夫先生（米子）の教室である。三先生共に親代わりの厳しい躰と親に勝る愛情を子供達に注がれ、小澤イズムの海洋訓練（youth 誌 65・66 合併号参照）に力点を置いた指導を体現された方々である。

このケースの指導者は人格・技術・経済力の三拍子が揃って初めて可能となる。但しこのケースでは問題児を預かったり私財を投げ打ったりして、指導者の家庭への犠牲を強いることがあるので、この面での限界に達すると閉じざるを得なくなるし、人徳を受け継ぐ後継者も難問である。

また生徒数はおよそ 15 人以下ぐらいで安定するのでコーチ数も少なく、指導者の監督も行き届くので問題は生じない。但しこの寺子屋形式が近郊近在に評判をとり、生徒の人数が増え、慈善事業が営業事業化すると話が違ってくる。しかも人格矯正など問題児が多くなればそれなりの専門家を必要とするし、人数に合わせて増やしたコーチへの監視が稀薄になり、コーチ達は徳に富んだ指導者のカリスマ性が自分に備わったとの錯覚に陥り、勝手な行動で事件を起こすことになる。かつての戸塚ヨットスクールの事件は、理想的な教室がたどった末の落とし穴ではなかったか？

以上、類型別に指導者とコーチの特性を述べてみたが、クラブ組織としては何等かの評価基準が在って然るべきである。類型Ⅰのクラブは多分その種のものが在ると思うが、ここでは筆者の私案を示しておく。

12. まとめ

短期連載の岸野寛理事の依頼を裏切って冗筆を重ねてしまった。これも小澤先生の持論「子供から育成を始めなければヨットの普及は進まない。そのために多くの指導者の育成こそ大切である」があつての

指導理念

○子供の未来像として、敬愛され、社会・国家に役立つ人間を描く。

○生涯を通じて海とヨットを愛好する人間たるべく育成する。

指導員心得8か条

1. 陸上・海上のあらゆる危険予知と事故時の想定を怠らず、危機に臨んで子供の安全に全責任を負う覚悟あるべし。
2. 全ての子供の心身の健康に留意し、目配り怠るべからず。
3. JJYU の指導理念に則り、自己本位を戒め、生徒本位を旨とすべし。
4. 自ら子供の模範像たるべく、常に品性高潔を心掛けるべし。
5. 集団内の規律は厳格に守り、守らせ、集団活動の安息と魅力を造成すべし。
6. 子供への観察、評価、助言は常に公平・公正を期すべし。
7. 自らの知識、技能、技術に過信を慎み、常に自己研鑽を怠らず、進んで他からの指導を求める謙虚さを持すべし。
8. 競技規則はあくまで海上航行の安全と競技の円滑運営の観点で指導を行い、スポーツマンシップとグッドマナーを強調すべし。

ことと赦して貰いたい。終章にあたって次に挙げるのは筆者が論文審査にあたって評価基準として用いたものであるが、平成 15 年、「指導員テキスト」の改訂作業の折、追記を考えたが、原本の主著者の賛意が得られず没にしたものである。従って連盟の公式のものではないが、参考までに本稿のまとめとしたい。

あとがき

筆者が小澤吉太郎先生と初めて同席したのは、昭和 32 年の暮、大学先輩の山本房生氏邸（馬込）であった。先生は確か 50 歳の中央大ヨット部長だったと記憶している。山本先輩は中学生時代（今の高校生）からの 7 歳下の弟分で、下って昭和 45 年には、江ノ島で、お二人が少年少女の世話をされていた時に下働きを筆者に命ぜられた。もっとも勤めの関係で数か月の休日だけであったから、筆者が子供と接した経験はこの時だけのごく短いものに過ぎない。ジュニアヨットの指導経験では、連盟の先輩である種田一郎氏、福吉信雄氏、武村洋一氏等が一家言を持って居られたし、小澤吉太郎先生の直弟子としては青淵隆

督氏、石田幹雄氏等が居られたので、筆者が小澤イズムを語るに内心忸怩たるものがあつたが、恥をしのんで書き綴ってみた。小澤イズムに関する筆者の知見は、概ね他人を介しての見聞であるが、その方々を挙げれば大学先輩の山本房生氏、戸田孝昭氏、勤務先（三菱重工）の先輩であった竹下政彦氏（日本ヨット協会初代会長・竹下勇海軍大将の長男、愛称シーラ）や海徳敬次郎氏（関学OB、1952 ヘルシンキオリンピック・フィン級 27 位、小澤監督）など、小澤先生と親交の厚かった人々である。本稿執筆の動機は、小澤イズムの風化を惜む気持ちと、ジュニアヨットクラブの再興隆にあたって指向する道を示したかったことにある。話は突然飛ぶが、2013 年 8 月にスペイン北東部ボルハ市の 82 歳の老女が教会のフレスコ画を復元したところ、似ても似つかぬキリスト像になり、世界中のニュースで批判を浴びた。ところが半年後のニュースでは、当の老女の悔恨の姿に同情が集まったのか、「これはこれでよいではないか」の評判でこの地が観光村になったそうで、老女のお小遣いが潤ったそうだ。

この話を引き合いに出すのも妙だが、小澤イズムという風化寸前の大壁画の復元に取り組んだものの、線描も色調も原画とはかけ離れたとの批判が出そうである。その点は筆者も覚悟をしているが、一方で、かのスペインの老女と同様に大目に見て戴くことを祈るばかりである。

完

目次

- (No.84、No.85 に掲載)
1. 小澤吉太郎先生とジュニアヨット
 2. 小澤先生の指導理念とは
 3. 「スポーツ概念」の変質
 4. 勝利至上主義の罠
 5. 競技規則の取扱い
 6. 厄介なプロテスト制度
 7. 公認指導員制度について
 8. 小論文の中の気懸りな言葉
 9. スポーツマンシップとシーマンシップ（今号に掲載）
 10. 指導者・コーチに期待すること
 11. クラブの成立ちと指導者の関係
 12. まとめ
- あとがき

■今後のイベントスケジュール

□競技会および普及活動

●海外セーリング研修

開催期日：2018 年 2 月中旬予定

開催場所：ニュージーランド

<海外セーリング研修派遣クラブ>

江東区立小中学校セーリング部（ダブル受賞）

葉山町セーリング協会

夢の島ヨットクラブ

（国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会 2017 特別賞受賞クラブ、ミキハウスカップ東京 2017 優勝クラブ）

●第 6 回ジュニアヨットクラブジャンボリー

開催期日：平成30年5月3日（木・祝）～5日（土・祝）

開催場所：（海洋活動）茨城県行方市高須海洋運動場

（宿泊施設）茨城県立白浜自然少年の家

*平成 29 年度は開催いたしませんでしたが、平成 30 年度は場所を茨城県に移し、ゴールデンウィークに開催の予定です。多くの子供達の参加をお待ちしています。

●国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会 2018 in 大分

開催期日：平成30年8月3日（金）～5日（日）

開催場所：大分県別府市別府港北浜ヨットハーバー

●第 28 回ジュニアヨット国際親善東京レガッタ

（ミキハウスカップ東京 2018）

開催期日：平成 30 年 9 月上旬予定

開催場所：東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所

●第 7 回ジュニアヨット国際親善大阪レガッタ

（ミキハウスカップ大阪 2018）

開催期日：平成 30 年 10 月中旬

開催場所：未定

■平成 29 年度連盟会長表彰

平成 27 年度より施行することとした連盟会長表彰制度に基づき、当連盟の定款に定める目的及び事業に照らしその業績が顕著な下記 3 名の方々を選出し、平成 29 年 6 月 10 日に港区三田の東京さぬき倶楽部にて表彰式を執り行いました。

大平邦夫氏（いわきジュニアヨットクラブ代表者）

2004 年いわきジュニアヨットクラブ設立。2011 年 3 月の震災後、海洋利用者協議会（サンマリーナ・オーナー）にて、全盲セーラーと辛坊氏の太平洋横断への協力やシンポジウム開催など積極的な復興活動を行う。2011 年 8 月の国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会には、艇も無くなり練習も出来ていない子供たちを元気づけるため引率参加し、その後も猪苗代湖で練習、活動を継続。2014 年によく元の小名浜港での活動再開を実現。

関慶氏（千葉ヨットビルダーズクラブジュニア代表者）

1985 年に千葉ヨットビルダーズクラブジュニアのコーチ就任以来、32 年にわたり OP 艇を中心にジュニアの指導・育成に注力してきた。現在は当クラブの代表をされているが、その間、福岡ジュニアヨットクラブ、松島名取ジュニアヨットクラブでもコーチを歴任され、現在も各大会でテクニカル委員長として活躍されている。（2004 アテネオリンピック 470 級男子銅メダリスト、関一人氏は千葉ヨットビルダーズクラブジュニア出身で関氏の御子息です。）

菅澤省吾氏（加茂ヨットスポーツ少年団元代表者）

1962 年に山形県立加茂水産高等学校の実習教諭となり高校のヨット部を設立して以降、高校生の指導のみならず、1970 年鶴岡ジュニアヨットクラブの設立後地元でのジュニアヨット大会の開催など、東北でのジュニア育成に貢献された。1958 年鶴岡市立加茂小学校で全国初のヨット学習を 4 ～ 6 年生に開始。加茂小学校ヨット部が出来た。

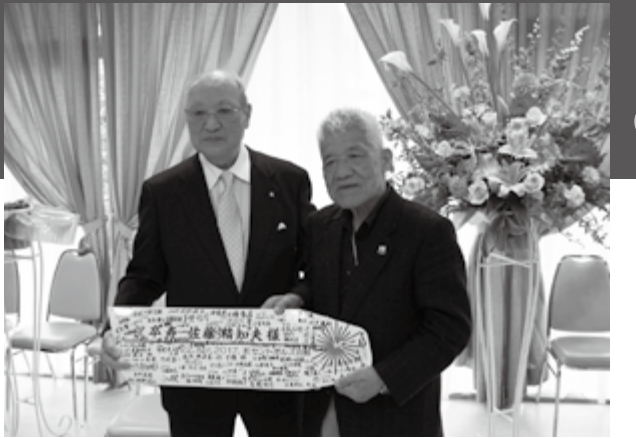
表彰式にて。前列左より、菅澤氏、佐藤 JJYU 会長代行、大平氏



河野 JSAF 会長より表彰状を授与される中川氏

■佐藤会長代行の卒寿のお祝い

平成 29 年 4 月 23 日に、立教大学セントポールズ会館において、JJYU 佐藤精知夫会長代行の卒寿のお祝いの会があり、JSAF 河野会長はじめ、立教大学関係者、JJYU 関係者など多くの皆さんがお祝いに駆けつけ、盛大なお祝い会となりました。おめでとうございます。



お祝いの寄せ書きラダー（右側の小樽ヨット少年団元代表島田重司氏作成）と佐藤氏

■公認指導員制度の改定と活用をお願い

指導育成委員会より

JJYU の公認指導員制度に関しては、安井副会長連載記事の前号でも詳述されておりますとおり、昭和 60 年、JJYU の前身の日本少年ヨット連盟時代に制定され、改定されながら今日に至っていますが、運用はやや形骸化し、機能が低下してきている現状にあります。

指導員の育成・認定をすることは、JJYU の活動理念の根幹であり、必須な業務であります。

そこで、現状の運用を再構築し、活性化を図る目的で「公認指導員認定に関する細則」を、下記の通り一部変更いたしました。

公認指導員制度を有効に運用していくために、各クラブ

より、多くの方々を指導者研修会に派遣いただくよう、お願いいたします。

① JJYU 主催大会やその他機会に行う指導者研修会に参加し、所定の申請書を提出した者を認定。

② 新任・更新の手続きは、本人が直接 JJYU に申請することが出来る。（必ずしもクラブ代表者を經由する必要はない。）

③ 広報誌「ユースセーリング」に公認指導員名簿を掲載。

④ 公認指導員は、JJYU が主催する大会などのクラブの責任者として取り扱われるほか、大会等の運営に参加協力することが出来る。

⑤ 特典として、広報誌「ユースセーリング」が無料配布される。

●公認指導員（平成29年9月末現在、JJYU 役員（理事、委員）を除く）

（有効期間）	H26.4 ～ H30.3	H27.4 ～ H31.3	H 28.4 ～ H 32.3	H29.4 ～ H33.3
浅虫ジュニアヨットクラブ				角田 健 17002
いわきジュニアヨットクラブ				菊池 邦仁 17003 内田 善啓 17004
夢の島ヨットクラブ	山本 武 14011 渡辺 隆宏 14012 小村 孝 14014 近藤 哲弘 14015 篠宮 和明 14016			林 和之 17001
江東区ヨット連盟 ジュニアヨットクラブ		阿部 喬 15001 野口 秋男 15002 青木 秀二 15003 滝川 宗一 15004 滝川 和男 15005		
横浜ジュニアヨットクラブ		渡辺 浩一 15023		
ちよっとヨット ジュニアヨットクラブ	小高 優果 14017 野中 秀樹 14018 小宮 航 14019 野中 祐樹 14020 鈴木 雄介 14021			
藤沢市青少年セーリングクラブ		梯原 和久 15024		
琵琶湖ジュニア セーリングスクール	増田 佳久 14001 増田 俊子 14002 赤松 賢介 14003 赤松 由布子 14004 高山 剛希 14005 高山 亜希子 14006 結城 浩司 14007 神原 里佳 14008 坂本 絵梨 14009 佐々木 友彦 14010			

JJYU NOTICE BOARD

■平成29年度JJYU役員・組織をご紹介します

平成29年度 一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟組織

総 会

理事会

会 長
石原伸晃

副会長
佐藤精知夫
安井 清
伊藤雅宣

専務理事
伊藤雅宣

常務理事
中川二郎
中根健二郎

監事
茅野信行
滝川宗一

顧問
山崎達光
小松勇一
小野一臣

財務会計
担当
伊藤雅宣

総務関係
担当
中根健二郎
担当補佐
塩野崎英二

事業関係
担当
中川二郎

	主たる業務	委員長	副委員長	担当
財務会計委員会	特別会員募集 財政・財務管理 会計・予算・決算業務	伊藤雅宣	中根健二郎	林 幹雄 田中生子
総務委員会 (事務局)	総会・理事会・委員会開催 (案内) 登録クラブ現況把握 正会員・特別会員名簿管理 年会費・クラブ負担金等管理・督促 各種書類作成、連絡、発送業務	原田浩二	井上洋子 (事務局長)	山下弘雄 (事務局) 竹腰真紀子 (事務局) 渡邊健二、 田中生子 筒井洋二
広報委員会	ユースセーリング発行 広報活動 ホームページ管理 連盟史編集 (小委員会)	岸野 寛 岸野 寛	葛西信一 葛西信一	伊藤雅宣
表彰委員会	表彰委員会の開催 表彰候補者の履歴調査 表彰候補者の会長への推薦 JSAF 定期表彰受賞候補者推薦	中川二郎	中根健二郎	佐藤精知夫、 安井 清 伊藤雅宣、 小野澤秀典 塩野崎英二、 井上洋子
指導育成委員会	公認指導員認定・更新 指導者講習会開催 指導者育成	中川二郎	青山義弘	丸山晴久 (医事委員長) 山下弘雄、 野村泰造 浜崎濤次郎 橋本俊彦 (医事委員)
普及渉外委員会	後援・協賛団体対応 (含JSAF) 文科省、国交省対応 スポーツ振興センター対応	塩野崎英二	玉置 純	小野澤秀典、 元 憲幸 原田浩二、 佐藤公俊
競技委員会	競技会企画・準備・運営 () 書きは担当責任者	高間博之	渡邊健二 (国際交流競技会)	元 憲幸 (ミキハウスカップ東京) 玉置 純 (ミキハウスカップ大阪) 筒井洋二 (ジュニアヨットクラブ ジャンボリー) 森田光一
国際委員会	国際交流競技会 ミキハウスカップ 海外セーリング研修	佐藤公俊	小野澤秀典	青山義弘、 原田浩二 野村泰造、 山下弘雄 田中生子
地域担当委員会	地域クラブ、県連担当	小野澤秀典	山下弘雄	内藤武夫、 小山利男 玉置 純、 渡邊健二 野村泰造、 青山義弘

発行が遅れがちでご迷惑をかけていたユースセーリングですが、16年10月、17年3月、10月と立て続けに発行し、ようやくイベントに追いつきました。

また、今回の86号からは、誌面を一部リニューアルし、レース報告に4ページを割り、成績表を一箇所にまとめました。これにより、より多くの子供たちの写真を掲載できるようになり、また成績表には全参加選手の名前を掲載することができました。

今回の発行は2018年10月と、一回／年の発行ペースに戻します。これから多くの子供たち、保護者の皆さんに楽しみにしてもらえる機関紙を目指しますので、ご愛読よろしくお願いいたします。(岸野・葛西)

Youth Sailing No.86

- レイアウトデザイン 有限会社 オフィスルナ
- 印刷・製本 有限会社 サムネク
- 編集委員会 連絡先
- 一般社団法人 日本ジュニアヨットクラブ連盟
- ユースセーリング編集委員長 岸野寛
- 副委員長 葛西信一

〒251-0033
神奈川県藤沢市片瀬山 5-26-1
TEL: 090-9002-6913
e-mail: kishino.h@gmail.com



関連動画の総再生回数 2,800万を突破中!!
「海物語」のマリンちゃん×クリエイターインスピレーション
変幻自在の次世代キャラクター「アイマリン」



第四弾「DEEP BLUE SONG」公開中!!

アイマリンプロジェクト

検索



http://marine-project.jp/

©SANYO BUSSAN CO.,LTD.

